

# ESG データ



## 環境 Environment

### 環境方針

リコーリースグループは、中長期ビジョン『循環創造企業へ』のもと、事業活動における環境負荷低減に向けた取り組みを推進するとともに、事業を通じて脱炭素社会および循環型社会の実現へ貢献し、サステナブルな社会を目指します。

- 環境に配慮した商品・サービスの開発および提供を通じて、脱炭素社会の実現へ貢献します。
- 取り扱う機器の適正な管理および、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を促進し、循環型社会の実現へ貢献します。
- 事業活動における省エネルギーや省資源、汚染の防止・予防、グリーン調達等、環境負荷低減に向けた取り組みを推進します。
- 環境関連の法令等を遵守するとともに、SDGsなどの社会的要請を企業活動へつなげます。
- 環境への取り組みを推進するため、継続的にマネジメント体制や活動の改善に努めます。
- すべてのステークホルダーへ環境方針を周知・啓発し、環境に関する取り組みを積極的に開示します。

2020年12月改定 リコーリース株式会社

### 環境マネジメント

当社グループは、経営理念や環境方針、さらにリコーグループが掲げる環境戦略に基づいた環境経営を推進するために、国際規格ISO14001に則った環境マネジメントシステム（EMS）を構築・運用しています。

### ● 環境経営度評価システム

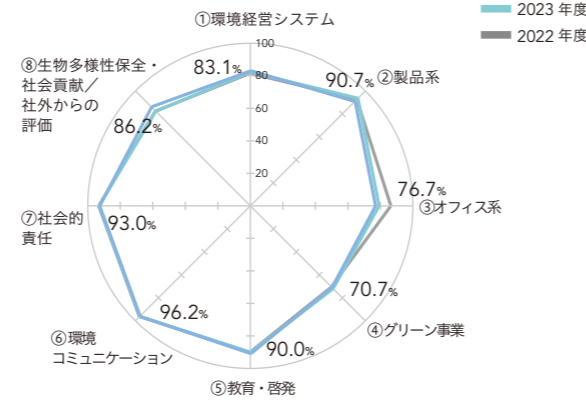
当社は、独自の環境経営度評価システムによって、自社の環境経営をさまざまな角度から点検しています。

この仕組みは、事業を通じた環境貢献や環境負荷に対する「自らの位置づけを知る」ためのツールとして、中長期の環境目標や年度方針の策定に活用しています。2024年度は右記の結果となりました。

②製品系は物件回収率の減少、③オフィス系は紙使用量が増加したことでポイントダウンとなりました。一方、⑨生物多様性保全・社会貢献/社外からの評価は、千葉県防潮林再生のための海外緑化活動の開始やCDP気候変動レポートにおいて最高評価を獲得したことから、ポイントアップとなりました。

この結果を踏まえ、2024年度は、引き続き事業を通じた環境への貢献を目的に、③オフィス系の取り組みである回収率向上、紙使用量の削減に努めていきます。

### 2024年度環境経営度評価結果



得点率 = $\frac{\text{得点}}{\text{満点}} \times 100\%$	総合得点率	レベル
満点：1,000点	2024年度 85.3%	AAA-
レーダー・チャート周囲の数字は、いずれも2024年度の得点率を表します。	2023年度 85.6%	AAA-
	2022年度 86.1%	AAA-

レベル	総合得点率	レベル	総合得点率
AAA	+ 90.0% ~ - 80.0% ~	B	+ 30.0% ~ - 20.0% ~
AA	+ 70.0% ~ - 60.0% ~	C	+ 10.0% ~ - ~9.9%
A	+ 50.0% ~ - 40.0% ~		

総合得点率  
**85.3%**

### ● 2024年度の環境目標と実績 対象範囲：リコーリース株式会社

2024年度のCO<sub>2</sub>排出量削減目標（730t-CO<sub>2</sub>）は再生可能エネルギー由来の電力使用やエコカーの導入により達成となりました。一方、省資源については、営業活動の活発化により廃棄物、紙購入量ともに増加し、目標に対して未達となりました。

環境目的	環境目標	KPI	目標値	2024年度実績
事業活動における環境負荷低減	省エネルギーの推進	CO <sub>2</sub> 排出量	730.0 t-CO <sub>2</sub>	648.0 t-CO <sub>2</sub>
		電気使用量（38 事業所）	738,000 kwh 以下	762,855 kwh
		空調使用時間（豊洲）	夜間・休日：2,000 時間	夜間・休日：4,863 時間
		ガソリン使用量	111.5 kl 以下	111.7kl
		燃費改善	21.39 km/ℓ	20.90 km/ℓ
省資源		紙購入量	395 万枚以下	436 万枚
		紙使用削減率	20.0 % 以上	21.70 %
		廃棄物量	31.0 t 以下	36.0 t

### ● 環境データ

	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	備考(対象範囲、集計方法)	
環境関連法令違反	件	0	0	0	0		
GHG (CO <sub>2</sub> ) 排出量	合計	t-CO <sub>2</sub>	971,115	1,008,152	1,012,243	1,058,777	
	スコープ 1	t-CO <sub>2</sub>	292	276	331	334	
	スコープ 2	t-CO <sub>2</sub>	473	189	211	179	
	スコープ 3	t-CO <sub>2</sub>	970,350	1,007,687	1,011,701	1,058,264	
GHG (CO <sub>2</sub> ) 排出量：原単位							
スコープ 1+2		2.52	1.56	1.75	1.64	売上高10億円あたり	
スコープ 3		3.19	3.37	3.28	3.39	売上高百万円あたり	
廃棄物総排出量	t	359.0	324.9	321.5	340.3	RLグループ	
廃棄物排出量：原単位		1.18	1.09	1.04	1.09	売上高10億円あたり	
有価物を除いた廃棄物排出量	t	233.7	182.3	127.4	179.6	RLグループ	
一般廃棄物のリサイクル率	%	93.7	92.6	93.7	90.9	RL単体	
水使用量	m <sup>3</sup>	5,340	5,160	6,277	7,362	テクノレントのみ含む16拠点 2024年よりエンプラスも含む17拠点	
水使用量：原単位		17.57	17.26	20.36	23.33	売上高10億円あたり	
紙使用量	万枚	525.3	628.5	630.2	662.7	RLグループ	
GHG (CO <sub>2</sub> ) 排出量	Cat1	t-CO <sub>2</sub>	718,140	737,697	715,467	759,868	RLグループ
各カテゴリの排出量	Cat13	t-CO <sub>2</sub>	242,071	258,617	254,609	264,624	RLグループ
リコー製品リース終了物件のリサイクル率	%	99.7	99.8	99.9	99.8		
リコー製品以外の物件リサイクル率	%	87.8	88.2	85.7	85.5		

## 環境会計

当社グループは環境経営を推進していくため、環境会計を算出し、環境保全活動の費用対効果を分析しています。分析結果は環境経営の意思決定等に活用しています。

対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日 集計範囲：リコーリース株式会社、テクノレント株式会社、エンプラス株式会社

### 1 環境保全コスト

(単位：百万円)

分類	2023年度		主な取り組み内容	2024年度	
	環境投資	環境費用		環境投資	環境費用
1. 事業エリア内コスト	12.79	11.66	—	21.12	15.89
(1) 地球環境保全コスト	11.91	10.61	省エネ（パソコン入替など）	19.53	14.57
(2) 資源循環コスト	0.88	1.05	省資源化（用紙削減など）	1.59	1.32
2. 上・下流コスト	0.00	540.95	リース終了製品の回収費・処理費など	0.00	582.18
3. 管理活動コスト	0.00	72.43	環境活動コスト、統合報告書の制作費、EMS 審査費用など	0.00	77.03
4. 社会活動コスト	0.00	9.89	緑の募金など	0.00	10.17
5. 環境損傷対応コスト	0.00	0.00	—	0.00	0.00
合計	12.79	634.93	—	21.12	685.27

### 2 環境保全効果

項目	2023年度	2024年度
	環境負荷削減量	環境負荷削減量
CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	23	114.8
NOX排出量 (t)	0.048	0.01
廃棄物最終処分量 (t) (テクノレント除く)	0.04	△ 1.07
用紙削減枚数 (対前年度差：万枚)	△ 2.38	△ 42.09

### 3 経済効果

(単位：百万円)

分類	2023年度	2024年度	
	金額効果	主な取り組み内容	環境投資
1. 事業エリア内コスト	2.33	—	△ 2.18
(1) 地球環境保全コスト	1.84	省エネ（ガソリン、電気の削減など）	△ 2.97
(2) 資源循環コスト	0.49	省資源化（用紙削減など）	0.79
2. 上・下流コスト	6,260.8	リース終了機器の売却売上など	7,213.5
3. 管理活動コスト	0.00	—	0.00
4. 社会活動コスト	0.00	—	0.00
5. 環境損傷対応コスト	0.00	—	0.00
合計	6,263.1	—	7,211.34

### 4 環境負荷

項目	2023年度	2024年度
	総量	総量
CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	542.0	513.0
NOX排出量 (t)	1.26	1.26
廃棄物最終処分量 (t) (テクノレント除く)	2.23	3.30
用紙使用量 (万枚)	630.23	662.68
廃棄物排出量 (t)	345.16	336.72
うち、一般廃棄物 (t)	39.46	39.01
うち、産業廃棄物 (t)	305.70	297.71

### 5 環境経営指標

指標	2023年度	2024年度
環境収益率： $\frac{\text{経済効果}}{\text{環境保全コスト}}$	9.86	10.52

#### 環境会計レビュー

##### 1. 環境保全コスト

エコカーを積極的に導入したことにより、環境投資は前年比で8.3百万円増加しました。また、リース終了機器の回収費用により、環境費用の上流・下流コストが増加し、前年比で50.3百万円増加しました。

##### 2. 環境保全効果

営業活動の活発化やグループ会社の増加によりエネルギー使用量は増加しましたが、再生可能エネルギー由来の排出権により相殺することで、前年比で114.8t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。

##### 3. 経済効果

リース・レンタル終了物件の売却による売上が増加し、上下流コストは前年比で952.7百万円増加しました。

##### 4. 環境負荷

環境負荷については、2. 環境保全効果に記載の内容と同様です。

##### 5. 環境経営指標

2024年度の環境収益率は、3. に記載の物件売却売上の増加により、前年度比で微増となりました。